

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

| | |
|----------|-------|
| * 科目 No. | 40114 |
|----------|-------|

| | | | |
|----------------------|---|------------------------|------------|
| 1. 開設大学 | 福山大学 経済学部 | 開講場所 (キャンパス・施設) | 本学 |
| 2. 科目名 | 備後経済研究Ⅱ | | |
| | 学問分野 | 番 号 | 名 称 |
| 3. 担当教員 | 張 楓 (経済学部・税務会計学科 教授) | | |
| 4. 開講学期 | 後期 週1コマ | | |
| 5. 開講期間 (曜日) 開講時間 | 平成 29 年 9 月 28 日 (木) ~ 平成 30 年 1 月 25 日 (木) | | |
| | 16 時 20 分 ~ 17 時 50 分 (90 分×15 回) | | |
| 個別開講日 | 1 回目 9/28 | 2 回目 10/5 | 3 回目 10/12 |
| | 7 回目 11/9 | 8 回目 11/16 | 9 回目 11/30 |
| | 13 回目 1/11 | 14 回目 1/18 | 15 回目 1/25 |
| 6. 募集定員 | 50 人 (総授業定員 100 人) | | |
| 7. 科目内容・ 授業計画 | <p>本講義では、「ものづくりの玉手箱」とも称賛されている備後地域 (福山市・府中市・尾道市・三原市) の産業集積地としての産業発展過程・メカニズム及び問題点、今後の可能性について大都市圏域 (東京、大阪、名古屋) や代表的な地方工業地域 (長岡、諏訪、浜松、広島など) との比較を視野に探ることを目的とします。後期では、前期における機械工業など近代産業のダイナミズムに対する理解をふまえて、近代産業と相互補完関係にある伝統産業のダイナミックな展開及び、それが地域経済の発展に及ぼす影響について、具体的事例を交えながら、詳細に考察していきます。</p> <p>授業内容は以下の通りです。</p> <p>1. オリエンテーション (復習) 2. 木履工業① (戦前・戦時) 3. 木履工業② (戦後：産地間競争) 4. 家具工業① (府中産地の形成) 5. 家具工業② (福山産地の形成) 6. 家具工業③ (備後産地の形成と静岡・徳島産地) 7. 家具工業④ (府中「ジャパン・ブランド」の模索) 8. 織物工業① (戦前期の佐々木商店) 9. 織物工業② (戦後の織物からアパレルへ) 10. 織物産業③ (デニムの成長：貝原織布からカイハラへ) 11. 織物産業④ (三備地区における繊維産業集積：ジーンズ生産) 12. ゴム産業① (オンリーワン・ナンバーワン企業の形成：早川ゴム) 13. ゴム産業② (福山ゴム) 14. ゴム産業③ (広島化成) 15. 総括</p> | | |
| 8. 受講料 | なし | | |
| 9. 別途負担費用 | (テキスト代・実習料等) なし | | |
| 10. 学習記録 | 交付する | | ○交付しない |
| 11. 科目等履修生 | 受け入れる | | ○受け入れない |
| | 単位数 | 単 位 | |
| | 受入学年 | 高校 2 年生以上 (二次募集時 1 年生) | |
| | 試験・評価 | | |
| 12. 開講条件※1 ない | ① 最少開講人数 (人) | | |
| | ② 不開講通知日 (7 月 14 日 (金) 以前の開講科目は 3 月末まで / 7 月 15 日 (土) 以降の開講科目は 6 月末まで) | | |
| 13. その他特記事項 | <p>日頃常にインターネットや新聞で備後地域の企業経営の動向をチェックすること、また事前に配布された資料を読んでおくこと</p> <p>初回 (9 月 28 日) の集合場所： 1 号館 3 階経済学部事務室</p> | | |
| 14. 開設大学への 交通手段 | <p>http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。</p> | | |

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。